

記載例

① 年 月 日

② 消防署長 殿

住 所

申告者 ③ 職業（職） 電話

氏 名

車両・船舶・航空機り災申告書

⑦

⑧

⑨

⑩

1	り災年月日	④ 年 月 日	り災物件と申告者との関係	⑤所有者・管理者・占有者
	り災場所	⑥		
2 車 両	運転者氏名		購入年月	
	用途別		購入金額	
	車両番号		年 式	
	焼けた箇所		消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所	その他
3 船 舶 ・ 航 空 機	船長・機長名		船名・機名	
	用途・機種		就航年月	
	トン数・最大離陸重量		購入金額	
	焼けた箇所		消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所	その他
4 積 載 物	焼けた物		消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所	その他
	り災物件との関係	所有者・管理者氏名		
5	火災保険契約会社名		保険金額	

【車両・船舶・航空機り災申告書記入要領】

- ① 申告日（提出日）を記載する。
- ② 管轄消防署名を記載する。[（管轄消防署検索についてはこちら）](#)
- ③ 申告者の住所、職業（又は役職名）、氏名及び電話番号を記載する。
- ④ 火災があった年月日を記載する。
- ⑤ り災物件と申告者との関係について当てはまるものを○で囲む。
- ⑥ 車両などが火災になった場所の所在を記載する。
- ⑦ り災した車両について下記により記載する。
 - (1) 「用途別」欄は乗用、貨物、タクシー、乗合バス、客車などの別を記載する。
 - (2) 「車両番号」欄は陸運局に届け出ている車両登録番号などを記載する。
 - (3) 「年式」欄は自動車車検証等を確認して記載する。
 - (4) 「焼けた箇所」欄は火災によって焼けた物及び熱によって炭化又は熔融した箇所を記載する。（⑧、⑨も同様）
 - (5) 「消火のために濡れた、汚れた、壊れた箇所」欄は消火のために受けた水損や煙により汚れた箇所、破損した箇所を記載する。（⑧、⑨も同様）
- ⑧ り災した船舶・航空機について「用途・機種名」欄は客船、貨物船、旅客機、観測機、練習機などの別を記載する。
- ⑨ 積載物について下記により記載する。
 - (1) 損害を受けた物の品名と損害額を記載する。
 - (2) 申告者と積載物の所有者等が異なる場合は氏名を記載する。
- ⑩ 車両等が加入している火災保険について契約会社別に万円単位で記載する。